

総務常任委員会の記録

(総務課)

招 集 年 月 日	令和7年3月4日（火）
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	3月5日（水） 午前 9時00分
閉 会	同 上 午前 9時44分
出 席 委 員	山田 寛二、安西 博文、赤松 紀幸、加藤 康幸、森岡 健治、 山石 恭助、山崎 匡
欠 席 委 員	
付 議 事 件 説 明 の た め 出 席 した者の職氏名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫、 課長 友岡 純、課長補佐 細川 洋一 係長 赤松 和昭、係長 山本 紀子、係長 重松 良麻
職務のため出席 した者の職氏名	議会事務局長 森本 秀行、書記 岡崎 智恵子
付 議 事 件	1 議案第24号「令和7年度松野町一般会計予算について」

山 田 委 員 長	議案第２４号「令和７年度松野町一般会計予算」総務課所管分の審査を行います。 担当課長に説明を求めます。
友 岡 課 長	(業務計画説明) 議案第２４号 令和７年度松野町一般会計歳入歳出予算について、歳入該当分、歳出２款総務費、１２款公債費、１３款諸支出金、１４款予備費の総務課該当分を、予算書に基づき説明します。なお、あわせて別冊資料をご覧ください。歳出予算の主な増減については総務課資料１～３ページにまとめているのでご参照願います。 まず、歳出予算、２款総務費、１項総務管理費、１目一般管理費の予算額は４０９，０６７千円で、前年度対比３３，３７０千円の増となっています。１節報酬から４節共済費までの人件費相当分においては１４，２６６千円の増となっていますが、内訳は前年度比で一般職が１名増、そして人事院勧告による給与改定、各種手当等によりトータルで増額となっています。 ７節報償費では、７０周年事業分１，２６０千円増の１，３７０千円。７０周年事業の内容は、総務課資料７ページをご覧ください。７０周年事業の事業費は各節に含まれています。 ８節旅費は、ＪＲ利用促進分を含む１，１１８千円増の３，６０５千円。内容は総務課資料８ページをご覧ください。 １０節需用費は、実績等を踏まえ１，４２５千円増の１３，２７６千円となっています。 １１節役務費は、通信費、各種手数料等３，９６３千円増の１４，０９４千円で、これは郵便料金改定を反映しているものです。 １２節委託料には、７０周年事業関係、システム改造委託料等により７，３５４千円増の２７，３１２千円を計上しています。 １３節使用料及び賃借料は、各種使用料が１，５８６千円増となったことにより１３，８４３千円を計上しています。 １４節工事請負費６０５千円は、庁舎１階交流スペース窓へロー

	ルスクリーンを設置する費用です。 17節備品購入費では、普通乗用自動車購入費の差額により2,215千円減の500千円を計上しています。 18節負担金補助及び交付金は、退職手当負担金や公共交通機関利用促進事業費補助金、70周年事業関係など4,042千円増の、99,079千円となっています。 2目文書広報費は、町広報誌「広報まつの」の発行経費であり、その予算額は2,520千円で前年度対比35千円減、前年と同程度の予算規模となっています。 4目財政管理費には財務諸表作成等の財政事務に関する費用を計上しており、予算額は2,053千円で、前年度対比728千円の減は主に委託料の減額によるものです。 6目財産管理費には、普通財産施設の管理費や入札管理システム等の費用を計上しており、予算額は8,096千円、前年度対比1,172千円の減ですが、その大きな要因は、前年計上していた住宅解体撤去工事費の減額によるものです。 10目コミュニティセンター費の予算額は6,552千円で、1,086千円の増となっています。その要因は燃料費や光熱水費、修繕料及び委託料の増額によるものです。 11目諸費には、区長会や行政協力員をお願いしている各組長報償費などを計上しており、予算額は5,831千円で、ほぼ例年通りの予算額となっています。 12目財政調整基金費の予算額は2,528千円で、前年度比1,202千円の増、その主な要因は財政調整基金利子の積立て分の増額です。 13目電算管理費は町の各種電算システムに関する経費で、予算額は209,500千円、前年度対比106,369千円と大幅な増となっています。増額の大きな要因として、まず一つ目にデジタル基盤改革支援事業が挙げられます。昨年度対比で関係委託料が5
--	--

6, 114千円増、使用料及び賃借料のうちガバメントクラウド使用料分25, 701千円が増額となっています。

デジタル基盤改革支援事業という表題の資料をご覧ください。国の進めるガバメントクラウドの概要として、標準化対象業務である20業務の内容と、実施概要及び費用、今後のスケジュールをお示ししています。令和8年2月頃の本稼働を目指し、諸準備を整えていくもので、7年度は総事業費102, 371千円に対し、61, 744千円の国庫補助を受け実施することとなっています。

増額要因の二つ目がパソコン基幹システム更新委託料23, 246千円です。これは、現在使用しているWindows 10のサポート終了に伴うアップグレード及びOfficeソフトのライセンス料等の経費を中心に、25, 540千円の事業費が増加要因となっているものです。

14目行政改革費の予算額は91千円、前年度同額で、行政改革推進委員報酬及び旅費を計上しています。

2款4項1目選挙管理委員会費の予算額は5, 214千円で、前年度対比1, 029千円の増額です。これは職員人件費、選挙システム改造費による増となっています。

業務計画でご説明したとおり、令和7年度は7月に参議院議員選挙が予定されており、4項2目へ参議院議員選挙費、7, 238千円を計上しています。

なお、町長選挙費は、前年度に執行完了しているため、廃止目としております。

12款公債費、1項公債費、1目元金の予算額は、539, 658千円で、前年度対比6, 260千円の増額となっています。過疎対策事業債ハード分6, 433千円の増のほか、各種起債償還元金の増減によるものです。

2目利子の予算額は26, 931千円で、前年度対比8, 994千円の増額となっています。緊急防災・減災事業債5, 295千円

の増のほか、各種償還利子の増減によるものです。

13款諸支出金、14款予備費については説明を省略します。

以上で歳出について説明を終わり、歳入の説明へ移ります。

2款地方譲与税から9款地方特例交付金までは、地方財政計画の伸び率により令和7年度の収入見込額を算出し、予算計上をしています。

10款1項1目地方交付税は、前年度対比3千万円増の21億8千万円を計上しています。普通交付税においては国の財政対策の方針によると、一般財源総額の確保等を行ったうえで、DX、防災・減災対策の推進、人件費の増加への対応、物価高への対応などを掲げており、示された推計伸び率等を参考に試算した結果、前年度比738万8千円、0.4%減の20億4千193万1千円としています。当初予算においては、推計額の99%相当額20億2千万円を計上しているため、保留財源としては2,200万円弱を確保しています。

特別交付税は、地方財政計画の推計伸び率や地域おこし協力隊員数、特定地域づくり事業、各種プロジェクト事業等に要する経費等を勘案し、交付額1億7,253万6千円を見込んでおり、その約93%、1億6,000万円を計上し、1,250万円程度を保留財源としています。

11款交通安全対策特別交付金は、ガードレールや白線など交通安全施設の整備に充当する財源であり、前年度同額の500千円を計上しています。

13款、1項、1目総務使用料のうち、1節庁舎使用料を877千円計上しており、これは主にJA松野支所、伊予銀行ATMなどの面積に応じた使用料で実績額を元に計上しています。2節、コミュニティセンター使用料は存置としています。

14款、2項、1目総務費国庫補助金、1節一般管理費補助金2,791千円は社会保障・税番号制度システム整備費補助金で、マイ

ナンバー中間サーバーの更改費用の財源となっています。

4 節電算管理費補助金、デジタル基盤改革支援補助金 6 1, 7 4 4 千円は、先ほど総務課資料で説明したデジタル基盤改革支援事業の財源となっています。

1 5 款、1 項、1 目移譲事務費県負担金のうち、総務課分は市町移譲事務等交付金 8 7 7 千円を計上しています。

同じく 3 項、1 目総務費委託金のうち、5 節に参議院議員選挙費委託金 6, 4 4 6 千円を計上しています。

1 6 款、1 項、1 目財産貸付収入 1 節土地貸付金は、電柱敷地使用料などで、前年度と同額の 4 8 6 千円としています。

2 目子及び配当金 1, 9 5 7 千円の中で、総務課所管分の財政調整基金等の預金利子を計上しています。

同じく、2 項、1 目物品売払収入については、科目存置予算として計上しています。

1 7 款、1 項、1 目一般寄付金では、7 0 周年事業に対する一般寄付金 1, 5 0 0 千円を計上しています。

同じく、2 目総務費寄付金では文書広報費 3 0 千円を計上しています。

1 8 款、1 項特別会計繰入金については 1 0 0 千円を計上しています。

2 項基金繰入金、1 目財政調整基金繰入金は財源不足対応として、対前年度比 5 0, 0 0 0 千円増の 2 億 5 千万円を計上しています。これは、令和 7 年度予算編成にあたり、人事院勧告に伴う人件費の改定、電算関連経費や資材高騰等による事業費の増、経常経費の上昇などの各種増加要因により生じた一般財源不足に対応するものです。

1 9 款、1 項、1 目繰越金・前年度繰越金は、対前年度比 5 5, 0 0 0 千円減の 5 0 0 万円を計上しています。

2 0 款、2 項、1 目町預金利子、歳計現金預金利子は前年度同額

	の60千円としています。 同じく、5項、1目雑入、2節交通災害共済普及助成金は207千円で、実績見込み額を計上し、同目5節に保険料実費徴収金のうち、雇用保険個人負担分を494千円計上しています。 同じく9節、市町振興協会交付金はサマージャンボ宝くじ、オータムジャンボ宝くじ等の収益金を原資として、県内市町等が実施するイベントや研修事業に対し、市町振興協会が助成しているもので、15,256千円のうちアカデミー研修分82千円と市町振興協会基金交付金6,240千円、市町振興協会市町交付金4,934千円を計上し、前年度対比441千円減の11,256千円を見込んでいます。 同じく18節、後期高齢者医療広域連合派遣職員負担金5,676千円は、同広域連合に派遣している職員人件費等の負担金を受け入れるものです。 21款、1項、1節過疎対策事業債325,600千円については、各事業の予算措置に基づき、ハード事業分220,800千円、ソフト事業分104,800千円を計上しています。 なお、昨日の本議会において、議員よりソフト事業分についての考え方について質疑を受けましたが、現在の対応としては、ソフト事業分の発行限度額まで予算に計上したうえで、当初要望、追加要望を含め最大限起債を獲得に努めていこうという方針で予算計上しているところです。 また、臨時財政対策債は国において新規発行額はゼロとされており、今回予算計上がなく廃目としています。 以上をもって、総務課所管分の予算について説明を終わります。 担当課長の説明が終わりました。 委員からの質問を許します。
山 田 委 員 長	
山 崎 委 員	70周年記念行事のところで、協賛事業補助金50万円というのがあったと思いますが、どういう形のものなのか説明していただい

友岡課長	たらと思います。 この事業については予算成立後に募集をする予定です。基本的に70周年記念事業は町が主体となり各種事業を実施するということをお知らせさせていただきましたが、各団体等で実施する事業についての助成も計画しております。予算では、10万円の限度額かける5件ということで、50万円を計上しています。町民や団体向けの70周年記念事業の補助事業ということで、ご理解頂けたらと思います。
赤松委員	今予算の説明もあったわけですが、今回の7年度の当初予算に前年度に引き続いて、財政調整基金を当初予算に繰入れをされています。 6年度の見込みでは、財政調整基金の繰入れが2億7,400万余りということで、今回も2億5,000万円を投入されるという予算状況になっているわけですが、その理由として、人件費とか、それから電算化関係、それから特別会計等の繰出金、そのような内容に伴って、財源が当初の組立ての中では不足するというようなことでの財調の取り崩しということですが、この事は今の交付税の動向等を見たときに、やはり交付税が増額してくれば、そういう問題も財調の取崩しをしなくても編成ができるという状況になるかと思うわけです。今の内容等を総合的に考えると、取崩しをしなくても、財政を運営していくということはなかなか難しい状況に、ここ当分の間もあるんじゃないかと思うわけですが、そこら辺の考え方のご説明をお願いします。
友岡課長	ご指摘の財政の組立てですが、7年度当初予算編成の折にも、予算査定、編成の中で、この点についてはかなり協議をさせていただきました。 各種経費の増加要因は、今程ご意見頂いたとおりですが、今後、財政調整基金が減っていくことは、予想できるところです。 今、かなり大きな経費としてガバメントクラウドの費用等が計上

赤 松 委 員	されているわけですが、今後、財政を持続していくための組立てをしていかねばならないところです。選択と集中、そして吟味をして予算を編成し、そして公共施設の在り方や、業務の合理化等においても進めてまいりたいと思います。 また、まだ担当レベルであまりお話しできる内容ではないですが、ガバメントクラウドの費用などは、どこの自治体でも負担になっていると聞き及んでおり、町村会や各種団体等で、国に要望を上げていくという話も耳にしています。交付税の算定については、人件費の分は見ていただいているというような説明はありますが、その点についても、予算編成の中では、十分でないという感触も受けています。 そういった外的要因も含めて今後、理事者とともに、協議をして備えていきたいと思います。危機感についてはご指摘のとおり、同様に感じておりますので、また、ご指導いただけたらと思います。 総務課長の答弁は十分分かるわけですが、松野町の場合は、もう交付税に頼らざるを得ない財政状況です。 ここで町の基本方針と当初予算という資料を頂いていますが、11ページを見ていただいたら分かるように、交付税のここ何年かの動向も資料に載せていただいています。もうここ数年間は、交付税の伸びも1%前後の伸びということで、今後増加になるような見通しがなかなか持てないわけです。 そういうことも踏まえて、今現在の財政の厳しい理由というような項目等を見たときには、やはり今後とも財政運営が難しくなってくるのではないかと思うわけです。その中で総務課の業務計画の説明がありましたが、業務計画の4ページにも、行財政改革の推進という項目があり、その中に第5次行政改革大綱の次期改訂に向けた調査研究を行うというような表現がしてあるわけです。ここ数年同じような表現がしてあるわけですが、やはり今の財政状況をとらえたときには、歳入があまり伸びないわけです。一方、歳出のほう
---------	---

坂 本 町 長	は、大変伸びが激しいわけです。そういうことから、やはり町長の第3期の公約といいますか、今後進めていきたいという内容が提示されているわけですが、この公約を実現するためにはやはり、取捨選択が必要になるわけです。そういうことから、やはり行財政改革も一方では進めていかなければ、坂本町政の今の公約というか、行政の推進にはなかなか難しい面も出てくるのではないかと思います。 そういうことから是非、事業推進とあわせて、行財政改革も同時に進行していくというか、取り組んでいくというような姿勢が必要ではないかと思いますが、そこら辺町長のお考え方をお聞かせ願いたいと思います。 ご指摘のとおり今大変厳しい財政状況を迎えております。 私としましてはコロナの時には、いろいろな事業が制約されたこともあり、また、国から手厚い支援もありまして、ある程度財政も見通せたのですが、去年頃からは、はっきり潮目が変わったなということを実感をしています。 これからは、赤松委員ご指摘のとおり、やるべきもの、そしてちょっと我慢すべきもの、はっきりとを色分けをしなければならないというふうに思っています。一方で交付税のことが出ましたが、今、松野町の財政を厳しくしているのは3つあると思います。1つは人件費の問題、これは働き方改革が世の中に浸透してきている以上、我々もその流れにしっかりと乗らなければならない。もう1つは電算管理費の問題、これも今DXが進んでいる以上、松野町だけ遅れをとるわけにはいかない。この2点につきましては、我々もしっかりやるけれども、その分は国が交付税でフォローしてくれなければ、小さな町はやっていけません。そのことについて国に働きかけていきたい。また、もう1つの要因が診療所の一般会計繰出金の問題だと思っています。これも、本当に身を切る覚悟で現場の医師、看護師とともに改革に当たりたいと思いますが、一方で地域医
----------------	--

	療を守るということでは、松野町唯一の入院診療機関ですから、絶対守っていかなければならないと思います。その点を国ももうちょっと評価をしていただきたい。小さな診療所ではないのです。うちの診療所は地域の中核として入院施設もあるので、その分はしっかり交付税で支えていただきたいということを言っていきたいと思います。 幸いなことに、ご承知のとおりこの愛媛、3区の代議士は長谷川代議士、総務省出身でありますし、また今総務大臣は、村上先生です。村上総務大臣とは近々お話をして松野町の要望を、これは県下9町の合同で行うのですが、要望を伝える機会を設けていただいていますので、そのことを、我々だけではどうしてもできないことを国がしっかりと支援していただくようお願いをしていきたいと思っております。 先ほども申し上げましたとおり、何もかもできるということは考えておりません。 40の項目の中でも、優先順位をつけてしっかりと進めること、そしてちょっと待つことをはっきりとして、ただ基本的には4年間で全て40の項目については、町民の皆様が納得をしていただけるようなレベルにはしていきたいと思いますが、その方法については十分考えていきたいと思っています。
赤 松 委 員	もう私申し上げたことはもう十分町長もお分かりというか、もう理解の上で進められていることと思いますので是非、今述べられたような目的にそって頑張っていただいと思います。
山 田 委 員 長	他にありませんか。 質問が無いようであれば、採決に移ります。 ただいま審査しております、議案第24号について、原案のとおり可決すべきものと決定することに、ご異議ありませんか。 (異議なしの声)
山 田 委 員 長	賛成全員です。

したがって、当委員会は、議案第24号「令和7年度松野町一般会計予算」、総務課所管分については原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和7年4月24日

松野町議会総務常任委員会委員長 山田 寛二